

資料4 平成15年度牧野組合調査実施要領

1. 調査の目的

阿蘇郡内の全牧野組合を対象として草原の現状や維持管理、牧野活用等に関する意向を把握し、阿蘇地域再生事業計画の検討及び、牧野活性化に向けた各種事業展開や意識啓発を進めるための基礎資料とする。

2. 調査名称：平成15年度牧野組合意向調査

3. 調査の主体

- ・環境省自然環境局九州地区自然保護事務所
- ・熊本県阿蘇地域振興局農業振興課

4. 調査内容及び分析の視点

別紙「調査票」及び「牧野組合アンケート調査 分析の視点」参照。

5. 調査方法

(1) アンケート調査

調査対象：阿蘇郡内179牧野組合組合長

実施方法：各町村担当者の協力を得て、組合長へ配布・回収（記名式）

阿蘇グリーンストックより町村担当者へ内容及び記入方法の説明、牧野組合長への配布依頼。組合長は調査票記入後、町村役場へ調査票を持参、担当者が回収・確認後、グリーンストックが回収

調査票記入に対する謝金支払い（@5千円）

実施時期：平成15年12月～平成15年1月

(2) ヒアリング調査

調査対象：アンケート調査の結果から、特徴的な牧野を抽出

実施方法：各町村毎に対象牧野組合長を招集し、個別ヒアリングを実施

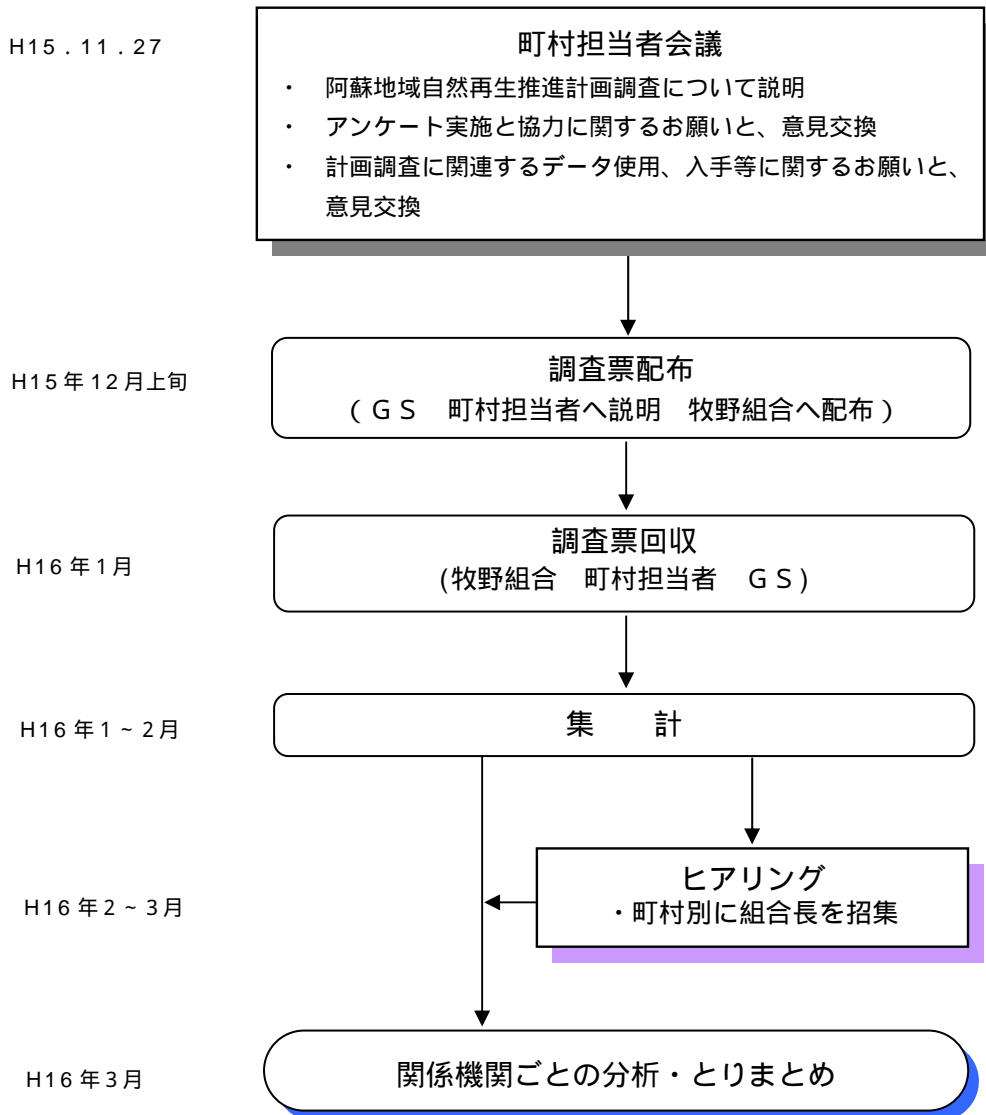
ヒアリングに対する謝金支払い（@2千円）

実施時期：平成16年2月中旬～3月（予定）

6. 調査体制

- ・現場管理：阿蘇グリーンストック
- ・事務局：環境省九州地区自然保護事務所
熊本県阿蘇地域振興局農業振興課・阿蘇地域牧野活性化センター
（財）自然環境研究センター
（財）日本グラウンドワーク協会
（株）メッツ研究所

調査スケジュール



平成15年度牧野組合意向調査 調査票のご記入にあたって

1. 調査項目の概要

アンケート票はこのページを含めて8ページです。
また、牧野範囲・輪地切り状況の地図を同封しております。
調査の概要は以下のとおりです。

- 牧野や組合の様子について（平成10年度調査以降の変化や理由など）
- 牧野の維持管理について（維持管理に関する継続意向・意欲など）
- 牧野の利用状況と今後について（管理放棄牧野の状況や外部への貸付等）
- 牧野・畜産の活性化について（周年放牧等への関心や補助事業への期待等）
- 輪地切り省力化について（省力化技術への関心、導入条件等）
- 牧野維持管理活動への支援について（ボランティア活動への評価・期待）
- 採草と草資源利用の状況について（採草の実態と今後等）
- 牧野範囲・輪地切り線の把握
（地図への記入=平成10年調査から大幅な変化のある場合）

2. 記入の仕方

アンケートについて

意向についての設問では、組合長個人のお考えをご記入下さって結構です。
選択肢を選ぶ場合とくに明記がなければひとつ。「2つまでに」など明記の場合はそれに応じた数だけ該当する番号に をお付け下さい。
また、該当する回答がない場合は「その他」の欄にご記入下さい。
数値記入の場合、はっきりわからなければ、おおよその数を記入下さい。

2ページの牧野状況等の表には平成10年時点の貴牧野のデータを記入しております。平成15年の状況を記入する際の参考として下さい。

これは「阿蘇の草原募金」の助成で（財）グリーンストックが、各町村および当時の牧野組合長各位のご協力を得て行った『平成10年度阿蘇郡牧野および牧野組合現況調査』のデータで、その更新とその後の変化を調べるものです。

牧野範囲・輪地切り状況図について

添付している地図は、上記した平成10年調査時点のものですが、平成15年現在、牧野範囲や輪地切りの場所や線形が大きく変化している箇所について、現在のラインをご記入下さい。（変化が大きい場合は後述の聞き取り調査で別途詳しくおうかがいする予定です）

3. 調査票の回収について

各町村担当者の指示に従い、ご提出をお願いします。

4. 補足の聞き取り調査について

場合によっては聞き取り調査で、調査内容を補足させていただくことがあります（2月以降）。その際は役場担当課を通してご連絡をさしあげますので、かさねてご協力をお願いいたします。

5. 設問内容や記入方法のお問い合わせ

記入方法などご不明の場合は下記までお問い合わせ下さい

（財）阿蘇グリーンストック 0967-35-1110 山内・中坊・佐伯

町村名

読み方
牧野名称

牧野番号 牧野番号

牧野や組合の様子についておたずねします



平成10年とくらべて、現在、どのような状況でしょうか？
平成15年の欄にご記入をお願いします。（注：放牧頭数は、放牧の多い夏の時期でお答え下さい）

		平成10年	平成15年	大きな変化がある場合、その理由をご記入下さい
牧野状況	総面積	<input type="text"/> 総面積 ha	ha	
	うち野草地	<input type="text"/> ha	ha	
	うち牧草地 (改良草地)	<input type="text"/> ha	ha	
	うち林地	<input type="text"/> 林地 ha	ha	
	入会権者戸数	<input type="text"/> 戸	戸	
	うち農家数	<input type="text"/> 戸	戸	
	うち有畜農家数	<input type="text"/> 戸	戸	
	放牧頭数(上記注)	<input type="text"/> 頭	頭	
	うち預託放牧頭数	—	頭	
	うち子牛頭数	<input type="text"/> 頭	頭	
輪地切状況	防火帯幅	<input type="text"/> m	m	
	延べ出役者数	<input type="text"/> 人	人	
	平均年齢	<input type="text"/> 歳	歳	
野焼状況	野焼き面積	<input type="text"/> ha	ha	
	延べ出役者数	<input type="text"/> 人	人	
	野焼き中止面積	平成7年以降 <input type="text"/> ha	平成10年以降 ha	

有畜農家数を経営者の年齢によって分けると、どのような構成になりますか。

1.30歳未満 ()戸	4.50歳代 ()戸
2.30歳代 ()戸	5.60歳代 ()戸
3.40歳代 ()戸	6.70歳以上 ()戸

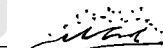
また、50歳以上(回答4.5.6)の有畜農家のうち、畜産業の後継者がいるのは何戸ですか。

戸

牧野の土地所有や利用の概況をおたずねします。

問1. 牧野の登記簿上の所有関係についてご記入下さい。 (面積がわかればヘクタールで、わからなければ概ねの割合をご記入ください)	国有地	約 haまたは 割	共有地	約 haまたは 割
	町村有地	約 haまたは 割	その他 (内容も記入)	
	私有地	約 haまたは 割		約 haまたは 割
問2. 牧野の中で畜産以外に使っている場所があれば、その利用内容とだいたい面積または割合をご記入下さい。 (利用が複数ある場合は、面積の大きいものから4件まで)	利用内容その1		約 haまたは 割	
	利用内容その2		約 haまたは 割	
	利用内容その3		約 haまたは 割	
	利用内容その4		約 haまたは 割	

牧野の維持管理についておたずねします



おたずねすること	回 答			
<p>問3. 現在、組合で牧野の維持管理を続けている理由は何でしょうか。</p> <p>主な項目を重視する順に3つ選び、回答欄に番号をご記入下さい。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農業・畜産業に欠かせないから 2. 阿蘇に観光客を呼ぶ資源となっているから 3. 火災・土壌崩壊防止や水源涵養に役立っているから 4. ふるさとの風景や文化として後世にも伝えたいから 5. 貴重な動植物があるから 6. 先祖代々守ってきたものなので 7. 入会権を手放したくないので 8. 行政から中山間地域等直接支払い等の助成金が出るので 9. その他 [] 			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">第1位</td> <td style="width: 33%;">第2位</td> <td style="width: 33%;">第3位</td> </tr> </table>	第1位	第2位	第3位
第1位	第2位	第3位		
<p>問4. 採草・放牧、野焼きなど、現在組合で行なっている牧野の維持管理作業の今後について、どのようにお考えですか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 続けたいし、今以上に規模を拡大できる 2. 続けたいし、今と同じ規模でできる 3. 続けたいが、今と同じ規模ではできない 4. まだ続けられるが、やめたい 5. もう続けられないし、やりたくない 			

牧野の利用状況と今後について、おたずねします



おたずねすること	回 答
<p>問5. 牧野の中で、かつて利用していたが現在は利用していない部分(1ha程度以上)がありますか。</p> <p>あてはまる項目に をつけ、1・2の場合は、その面積または概ねの割合をご記入下さい。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 採草も放牧もしていないが野焼はしている部分がある ()haまたは()割 2. 野焼きもせず放置している部分がある ()haまたは()割 3. 利用していない部分はない → 問14へ

問5で1または2とお答えの方へ ↓

<p>問6. 利用していない理由は何でしょうか。</p> <p>(いくつでも)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地形的に使いにくい 2. 管理道がなく使いにくい 3. 水場(湧水・飲水施設)がない 4. 野焼をしていないため利用できない 5. 牛がいない 6. 採草しても草の需要がない 7. 有畜農家が少なくなっている 8. 高齢化で作業が困難になっている 9. 牧野内の利用権の関係から 10. その他 []
<p>問7. 今後、条件が整えば、その場所を組合内で採草・放牧に利用したいと思われませんか。</p> <p>(2つまでに)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 採草に利用したい 2. 放牧に利用したい 3. 利用したいとは思わない → 問9へ

問7で1または2とお答えの方へ ↓

<p>問8. どんな条件が整えば利用できるとお考えですか。</p> <p>(2つまでに)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 輪地切り・野焼きができれば 2. 飲水施設(水場)等の整備の資金があれば 3. 日常的な管理の人手があれば 4. 牛を預けてくれる人がいれば 5. コストに見合う価格での草の引取り手があれば 6. その他 []
---	--

問9. 今は利用していない牧野を、条件が整えば組合員以外に貸し付けてもいいと思われませんか。	1. そう思う 2. そうは思わない → 問14へ
--	--------------------------------

問9で1とお答えの方へ

問10. 貸し付けにあたり重視したい条件はどのようなことですか。(2つまでに)	1. 利用のしかたを限定する 4. 使用料が一定水準以上 2. 利用者を限定する 5. 公的機関が仲介する 3. 利用期間をはっきりさせる 6. その他〔 〕
問11. どのような利用のしかたであれば貸し付けが可能ですでしょうか。(いくつでも)	1. 放牧利用 4. 畑作利用 2. 酪農放牧利用 5. 観光利用 3. 採草利用 6. その他〔 〕
問12. 貸し付けにあたり、牧柵・水場等の施設整備と土地形状の変更は可能でしょうか。(経費は借りる側の負担としてお考え下さい)(あてはまるものに)	1. 施設整備は可能 2. 土地形状の変更は可能 3. どちらも不可能
問13. 貸し付けるにあたっては、入会権の調整が必要でしょうか。	1. 調整が必要である 2. とくに問題はない 3. その他〔 〕

牧野・畜産の活性化についておたずねします



おたずねすること	回 答
問14. 畜産振興のための施策として、何が重要とお考えですか。(3つまでに)	1. 阿蘇の畜産PR(看板等) 6. 後継者対策 2. 畜産団地(カウステーション)整備 7. 地産地消 3. 子牛価格の安定 8. 観光による畜産振興 4. 周年放牧等技術指導 9. 肉用牛の改良 5. 補助事業の強化 10. その他〔 〕
問15. 2ページにご記入いただいた今夏の放牧頭数をあか牛・黒牛に分けると、それぞれ何頭になりますか。	あか牛 <input type="text"/> 頭 黒牛 <input type="text"/> 頭
問16. ここ5年間で貴牧野の放牧頭数はふえていますか。あか牛、黒牛別にお答え下さい。(預託を含む)	あか牛 1. 増加 黒牛 1. 増加 2. 変わらず 2. 変わらず 3. 減少 3. 減少
問17. 周年放牧についてどうお考えですか。	1. すでに取り組んでいる 3. 検討はしてみたい 2. 今後取り組みたい 4. 関心はない
問18. 放牧酪農についてどうお考えですか。	1. すでに取り組んでいる 3. 検討はしてみたい 2. 今後取り組みたい 4. 関心はない
問19. 放牧肥育についてどうお考えですか。	1. 関心がある 2. 関心はない 3. よく知らない
問20. 貴牧野組合では、中山間地域等直接支払い制度による助成を受けていますか。	1. 受けている 2. 受けていない
問21. 中山間地域等直接支払い制度は、平成16年度で終了の見込みですが、それについてどうお考えですか。	1. 今のまま継続すべき 3. 他の支援措置の方が良い 2. 制度適用を柔軟にして継続すべき 4. その他〔 〕

おたずねすること	回 答
問22. 畜産を継続していくために、貴牧野ではどんな補助事業を希望しますか。とくに重要と思うものを3つ選んで下さい。(3つまでに)	1. 牧柵・飲水施設(水場)の整備 2. 作業機械導入 3. 牧野改良・草地整備 4. 家畜導入 5. 畜舎整備 6. 草地更新時の種子・肥料の助成 7. 衛生対策(ダニや病気など) 8. その他()
問23. 作業請負集団(コントラクター)への委託について、どのようにお考えですか。作業項目ごとにお答え下さい。	野焼き 1. 委託したい 2. 検討したい 3. 委託しない 輪地切り 1. 委託したい 2. 検討したい 3. 委託しない 採草 1. 委託したい 2. 検討したい 3. 委託しない 牧柵の設置・修理 1. 委託したい 2. 検討したい 3. 委託しない その他〔 () 〕 1. 委託したい 2. 検討したい 3. 委託しない
問24. 牧野内で増加している雑草のうち、面積が最も大きい種類に、つけ、その種類について概ねの面積をご記入下さい。	1. チカラシバ (約 ha) 2. ギシギシ(俗名ダイオウ) (約 ha) 3. セイタカアワダチソウ (約 ha) 4. その他〔 () 〕 (約 ha) 5. 特になし

輪地切り省力化についておたずねします



おたずねすること	回 答																																
問25. 現在、貴牧野内では野焼きはどのように実施していますか。	1. 地区単位で行う 2. 入会権者全員で行う 3. 有畜農家だけで行う 4. 野焼きはしていない																																
問26. 貴牧野内では輪地切りはどのように実施していますか。	1. 地区単位で行う 2. 入会権者全員で行う 3. 有畜農家だけで行う 4. 輪地切りはしていない																																
問27. 輪地切りが必要な箇所で、とくに問題となることはどのようなことですか。(3つまでに)	1. 急傾斜地が多い 2. 森林境の距離が長い 3. 森林と牧野が複雑に入り組んでいる 4. 牧野の中に樹林地や家屋などが点在 5. 草刈り機や車が入る道がない 6. その他〔 () 〕																																
問28. 省力化技術であるモーソー輪地切りと牧野内の小規模点在樹林地除去をご存じですか。	モーソー輪地切りは 小規模点在樹林地除去は 1. 詳細まで知っている 1. 詳細まで知っている 2. ある程度知っている 2. ある程度知っている 3. 余り知らない 3. 余り知らない 4. 全く知らない 4. 全く知らない																																
問29. 上記2種も含め、輪地切り省力化技術(別添資料参照)について関心がありますか。項目ごとに該当する番号をお付け下さい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>非常に 関心がある</th> <th>関心が ある</th> <th>関心は ない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モーソー輪地切り</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>牧野内の小規模点在樹林地除去</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ウマを活用した輪地切り</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ヤギを活用した輪地切り</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>グリーンベルト造成</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>管理道を兼ねた恒久輪地整備</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>防火帯を兼ねた樹林地造成</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		非常に 関心がある	関心が ある	関心は ない	モーソー輪地切り	1	2	3	牧野内の小規模点在樹林地除去	1	2	3	ウマを活用した輪地切り	1	2	3	ヤギを活用した輪地切り	1	2	3	グリーンベルト造成	1	2	3	管理道を兼ねた恒久輪地整備	1	2	3	防火帯を兼ねた樹林地造成	1	2	3
		非常に 関心がある	関心が ある	関心は ない																													
	モーソー輪地切り	1	2	3																													
	牧野内の小規模点在樹林地除去	1	2	3																													
	ウマを活用した輪地切り	1	2	3																													
	ヤギを活用した輪地切り	1	2	3																													
	グリーンベルト造成	1	2	3																													
管理道を兼ねた恒久輪地整備	1	2	3																														
防火帯を兼ねた樹林地造成	1	2	3																														

おたずねすること	回 答
問30. 右に挙げる省力化技術のうち、貴牧野で使える可能性の高い技術を選び おお付け下さい。 (3つまでに)	1. モーモー輪地切り 2. 小規模点在樹林地除去 3. ウマを活用した輪地切り 4. ヤギを活用した輪地切り 5. グリーンベルトによる防火帯 6. 管理道を兼ねた恒久輪地整備 7. 防火帯を兼ねた樹林地造成
問31. 問30で選んだ技術のうち最も使えそうな技術 について、その番号をご記入の上、使えそうな場所の地形や地名、維持管理の状況など、わかることをご記入下さい。	最も使えそうな問30での技術の番号 [] 使えそうな場所について
問32. 実際に導入するための条件として、どのようなことが必要ですか。(2つまでに)	1. 技術指導 2. 資材等の提供 3. 労力の提供 4. 資金の提供 5. その他 []

牧野維持管理活動への支援についておたずねします



おたずねすること	回 答
問33. 牧野維持管理のための共同作業のうち、人手不足で困っているのはどのような作業ですか。 (いくつでも)	1. 野焼き 2. 輪地切り 3. 採草作業 4. 牧柵設置・補修 5. 管理道の補修や草刈り 6. 牛の見回り 7. 飲水施設(水場)の維持 8. ダニ駆除 9. 雑草駆除 10. 植林地の間伐・下草刈り 11. とくに困っていない 12. その他 []
問34. 野焼き・輪地切り支援ボランティア活動をご存じですか。	1. 良く知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない
問35. 野焼き・輪地切り支援ボランティアを受け入れたいですか。	1. 既に受け入れている 2. 今後は是非とも受け入れたい 3. 受け入れを検討したい 4. 受け入れたいとは思わない
問36. ボランティアは人手不足の解消だけでなく、地域住民と都市住民との交流を広げるきっかけにも繋がるものですが、交流が広がることを期待しますか。	1. 期待する 2. とくに期待はしない 3. その他 []
問37. 野焼き・輪地切り以外の作業で、ボランティアにできることが仮にあった時、その受け入れについてどのようにお考えですか。	1. 是非受け入れたい 2. 受け入れを検討したい 3. 受け入れたいとは思わない 4. ボランティアに出ることはない 3. 4とお答えの方 → 問43へ

問37で1. 2とお答えの方へ

問38. ボランティアに手伝ってほしい作業はどのようなものですか。各項目について具体的にご記入下さい。	作業項目と内容
	どのような場所で作業するのか
	何月ごろ、何人、何日くらい必要か

問37で1. 2とお答えの方へ(つづき)

おたずねすること	回 答
問39. ボランティアに維持管理作業を手伝ってもらうとき、どのような条件を重視しますか。(2つまでに)	1.作業経験 4.年齢・性別 2.活動の継続性 5.必要なときすぐ対応可能 3.メンバーの固定 6.その他〔 〕
問40. 仮に技術的訓練が必要な場合、組合側の指導協力が得られますか。	1.指導協力が出来る 2.指導協力でできない
問41. 作業を手伝ってもらうとき、組合側に行えることはありますか。(いくつでも)	1.ある程度の報酬支払い 4.食事の提供 2.必要な道具類の準備 5.その他 3.宿泊の受け入れ []
問42. 作業を手伝ってもらうにあたり、心配な点はどのようなことですか。(2つまでに)	1.人身事故 4.火災 2.家畜への影響 5.一般人が牧野に入るようになる 3.草の踏み荒らし 6.その他〔 〕

採草と草資源利用の状況についておたずねします

おたずねすること	回 答
問43. 貴牧野では採草をしていますか。	1.組合でしている 2.組合内の個人でしている 3.していない

問43で3とお答えの方へ

問44. 採草をしていない理由を教えてください。(いくつでも)	1.家畜頭数の減少 5.採草に必要な機器が無い 2.牛を飼っていないから 6.よい草が得られない 3.飼料は購入しているから 7.その他〔 〕 4.人手が足りないから
---------------------------------	--

このあと問53へ

問43で1. 2とお答えの方へ

問45. 採草している面積はどのくらいですか。	野草地 ()ha	牧草地(改良草地)()ha				
問46. 採草している月をお付けください。(いくつでも)	野草 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	牧草 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月				
問47. 年間の採草量はどのくらいですか。把握されている単位でご記入下さい。	野草 ロールで()個 1個当り()kg コンパクトで()個 1個当り()kg	牧草 ロールで()個 1個当り()kg コンパクトで()個 1個当り()kg				
問48. 採草した草はどのように利用されていますか。 野草・牧草ごとに、それぞれの概ねの割合をお答え下さい。	自家用	家畜飼料	野草	割	牧草	割
		敷料	野草	割	牧草	割
		堆肥	野草	割	牧草	割
		マルチ	野草	割	牧草	割
		その他 内容は? []	野草	割	牧草	割
	販売用	野草	割	牧草	割	
問49. 採草の方法についてお答えください。(いくつでも)	野草	1.刈払い機 2.小型収穫機 3.トラクター	牧草	1.刈払い機 2.小型収穫機 3.トラクター		

問43で1. 2とお答えの方へ(つづき)

おたずねすること	回 答	
問50. 採草地の管理にかかる年間の費用や人手についてご記入ください。	延べ従事者数〔 〕人/年 肥料代〔 〕円/年	機器費〔 〕円/年 その他〔 〕円/年
問51. 採草した草の品質について、あてはまるものをつけて下さい。	野草 1.高品質である 2.特に問題は無い 3.問題がある	牧草 1.高品質である 2.特に問題は無い 3.問題がある

問51で3.とお答えの方へ ↓

問51で3.とお答えの方へ ↓

問52. 草の品質についてどんな問題がありますか。(いくつでも)	野草 1.ダニがいる 2.カビが生えたり腐ったりすることが多い 3.雑草(毒草等)が入っている 4.草の栄養や収量等が落ちてきている 5.その他()	牧草 1.ダニがいる 2.カビが生えたり腐ったりすることが多い 3.雑草(ひえ等)が入っている 4.草の栄養や収量等が落ちてきている 5.その他()
----------------------------------	--	--

問53. 草の販売について、おたずねします。	単位			野草		牧草
				家畜用	堆肥用	
	草を販売している場合 だいたいの販売価格について、使用している単位の欄にご記入下さい。	ロール1個当たり	()円	()円	()円	()円
草を販売していない場合 問43で「採草をしていない」とお答えの牧野の方もご記入下さい 今後、草の販売を考えていますか。	1.販売する予定がある 2.現在販売を検討している 3.価格等、条件次第で検討したい 4.考えていない 5.その他〔 〕					

最後に、牧野の有効利用や活性化等に関するご意見をお聞かせください



牧野組合アンケート調査 分析の視点

調査項目	分析の視点	結果の活用
<p>牧野及び組合の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目別データの更新と変化の理由 <ul style="list-style-type: none"> 牧野面積 入会権者戸数 有畜農家年齢構成 放牧頭数 輪地切り状況 野焼き状況 牧野の土地所有状況・利用状況 	<p>5年間の変化（項目別評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿蘇郡内 町村別 組合別 <p>維持管理上の問題性評価 土地利用状況（野草地割合、畜産以外の利用など）</p>	<p>社会環境情報のGISデータベース化</p>
<p>牧野の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> 維持管理を続けている理由 今後の維持管理に関する意向 	<p>牧野利用、維持管理の継続の要因 維持管理の将来性（組合の意欲）</p>	<p>草原管理手法に関する実証試験（候補地、試験内容）</p>
<p>牧野の利用状況と今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用・管理放棄状況の量的把握 利用していない理由 今後の利用に関する意向と条件 組合員以外への貸し付けに関する意向 貸し付け時の条件、利用形態 入会権の調整 	<p>利用放棄の実態 採草・放牧利用推進の方策 牧野流動化の可能性と、推進の方策</p>	<p>牧野の流動化・入会権調整の検討</p>
<p>牧野・畜産の活性化への意向</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要と考える施策 活性化に向けた組合の取組状況 中山間地等直接支払い制度の継続意向 	<p>畜産振興、牧野活性化のための施策の方向性</p>	<p>畜産振興に向けた具体的な施策の推進</p>
<p>輪地切り省力化に関する意向</p> <ul style="list-style-type: none"> 野焼き・輪地切り実施状況 輪地切り実施上の問題点 省力化技術の認知度、具体的な導入意向 	<p>輪地切り省力化手法の普及の可能性 導入意向のある組合の特性 普及のための施策の方向</p>	<p>省力化技術普及マニュアル作成、ケーススタディ候補地抽出</p>
<p>牧野維持管理活動支援への意向</p> <ul style="list-style-type: none"> 維持管理のために支援が必要な作業 ボランティアの認知度と導入意向 野焼き・輪地切り以外で手伝える作業と条件 	<p>維持管理活動支援の必要性 ボランティア等による維持・管理作業支援の可能性と条件の整理</p>	<p>草原維持管理支援組織の形成に向けた実証試験</p>
<p>採草と草資源利用に関する意向</p> <ul style="list-style-type: none"> 採草の状況 草の利用状況 草の販売状況と今後の意向 	<p>採草と草資源利用の現状とポテンシャル評価 草の流通に関する現状と可能性</p>	<p>草の需要創出、バイオマス利用の検討</p>